

349

永久

B22

昭和十六年—十八年

北陸地方銀行合同件

考查局
昭和34年受理
永久保存
第 349 号
1 册

考查局

											番編
											號纂
											年
											月
											日
											仕
											出
											元
											件
											名

北陸地方
北陸北國
新立合同件

東東 3873

考査局 昭和24年受理No. 249 ~ 1/8

番編 號纂	年 月 日	仕 出 元	件 名
一	一 六 五 二 二		北陸地方銀行合同1件(調書) 銀行局長より北陸三都下所立銀行 合併問題ニ関シ本行、意向照會 ニ対スル意見
二	二 九		右意見 濱田普通銀行課長へ 回答 1件
三	二 九		金澤支店長宛 合同ニ関スル 意見照會(電報)
四	二 九		北陸地方銀行合同ニ関シ金澤支店、 報告

28
5
94

25
5
77

20
5
24

3

61
5
69

12
5
60

考查局 昭和24年受理No. 049 ~ 2/8

番編 號纂	年 月 日	仕出元	件 名
六	一六 一〇 二一	考査部 金沢支店	北陸三縣銀行合同三國各銀行若腦者意見 没田善銀課長ト北陸地方金融者腦者 ト、對談要旨
七	、	、	ト、對談要旨
八	、 二七	、	右追加報告
九	、 三一	考査部 十二銀行	北陸地方銀行合同三國各銀行答申件 北陸三縣於ケル富山縣經濟的地位就テ
一〇	、	考査部 金澤支店管内銀行合併三國	金澤支店管内銀行合併三國
一一	一七 一一 一五	考査部 大藏省方針	大藏省方針内報一件
一二	、 二八	考査部 中越銀行	中越銀行、大藏省、提出、答申書字
十三	、	考査部 東京中越銀行	東京中越銀行合併、東京中越銀行合併件

161 5 120
 156 5 160
 128 5 155
 124 5 127
 119 5 120
 110 5 118
 95 5 110-1

番 號	年 月 日	仕 出 元	件 名
一三	二 一	金澤美右長	富山縣新銀行設立準備打金會申合事項
一四	二 一三	〃	右銀行右編通知, 件
一五	一 二六	考査局長	富山縣下四行合同, 件
一六	一 二八	〃	富山縣下銀行合同, 閱スル覺書, 上取者
一七	四 六	金澤美右長 有藤	銀行局長本行支右長談, 件
			北陸銀行創立次第, 石川縣下銀行合同
			準備委員, 件
一八	四 一三	金澤美右長	富山縣下銀行合併契約書調印, 件
一九	五 四	〃	富山縣下銀行合併總會開催, 件
二〇	五 二二	〃	右總會無事終了, 件

207 200 204 195 180 178 176 172 5 5 5 5 5 5 5 5 240 206 229 200 194 179 177 175

番 編 號	年 月 日	仕 出 元	件 名
二一	一八七	金澤支店長	業陸銀行創立總會招集, 件
二二	七	局長	業陸重役決定, 件
二三	七	金澤支店長	業陸銀行重役決定, 件
二四	七	〃	業陸銀行創立總會開催, 件
三五	七	〃	富山縣下四村合併實行, 件
二六	八	〃	業陸銀行引継資産残余資産, 件
二七	三	〃	旧十二中越・高岡・富山・高山合同貯蓄合併支 付金支拂, 件

261 257 256 260 247 244 24東東 3873
 5 5 5 5 5 5
 262-260 258 249 246 240

考査局昭和四年大體No. 049 ~ 5/8

北國銀行

九	八	七	六	五	四	三	二	一	番 號
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	一八	年
七	〃	五	〃	〃	〃	〃	三	二	月
一三	二九	一五	二九	二四	〃	二七	一四	二三	日
局長	〃	〃	金澤支店長	考査局長	金澤支店長	考査局長	〃	金澤支店 青森官納	仕 出 元
石川縣三行合同ニヨル新銀行人事、件	石川縣下合同銀行對当比率、件	石川縣下銀行合同ニ付検査中杉本監督官引揚、件	石川縣下銀行合同公表、件	石川縣下銀行合同、件	〃	合同問題ニ付加能合同米谷頭取兼討、件	石川縣新銀行頭取、件	石川縣下銀行合同問題ニ就、件	件

其二

000 294 290 291 295 298 269 266 264
 5 5 5 5 5 5 5 5 5
 004 002 292 290 294 277 268 265

東京 3878

考査局昭和四年受理No. 049 ~ 5/8

番 號	年 月 日	仕 出 元	件 名
一〇	八 七	局長	石川縣下新銀行重設件
一一	"	考査局長	石川縣下銀行合同件
一二	八 八	金澤支局長	石川縣下銀行合併内認可申請書件
一三	"	"	石川縣下銀行株主總會期日変更件
一四	"	"	株主名義書換件止公告件
一五	"	"	合併三日株主拂込義務加重件
一六	"	"	石川縣下銀行合併内認可件
一七	六 六	"	石川縣三行合併案交付件
一八	九 五	支店長	能知株主承諾書徵求済件
一九	"	"	右承諾書全部徵求済件

058 057 041 040 007 006 004 000 008 005 007
 056 009 008 005 004 007

番 編 號 纂	年 月 日	仕 出 元	件 名
二八	一 二 一四	、	北國定款変更、件
二七	一 二 一三	、	北國銀行重役決定、件
二六	一 二 二七	支店長	北國銀行創立總會招集、件
二五	一 二 一八	支店長 大原 張	北國銀行、本店設立委員長、件
二四	一 二 一五	、	加能合同、加州能和株主總會、件
二三	一 二 三〇	、	送、件
二二	一 二 、	支店長	石川縣銀行合同、付株主招集通知狀
二一	一 二 、	局長	加州一分増配、件
二〇	一 二 二五	支店長	石川縣下三行合併、件
			石川縣下銀行合併契約変更、件

094 085 076 070 068 066 064 062 059 東 3873
 5 5 5 5 9 5 5 5
 093 084 075 069 067 065 063 061

考 查 局 昭和四年受理No. 149~8/8

									二九	番 號
									八	年
									三	月
									八	日
									支店長	仕 出 元
									止國銀行新立支行	件 名

其

一

秘

北陸地方銀行合同、件（調書）

一、北陸三縣下所在銀行、主要勘定ヲ

示セハ 左、如クニシテ 總額 預金 六億

千九百萬圓 貸出 二億八千九百萬圓

有價証券 三億五千六百萬圓ニ上リ 預

金ハ 拂込資本金、十五倍、預金ニ對

昭和 年 月 日



スル貸出、割合 四六%、証券、割

合 五七%ナリ。(一般地方銀行平均

預金、邦正資本、十九倍、預金ニ對ス

ル貸出、割合 四五% 証券、割合 五七%)

而シテ 富山、石川兩縣所在、銀行ハ

昭和 年 月 日

概シテ貸出ニ對スル運用比較的多ク

福井縣所在ノ銀行ハ其運用証券

ニ偏セリ。

日本銀行

北陸地方銀行主要勘定

(十六年四月末現在 單位千圓)

行名	預金	貸出	有價證券
十二	一三一五〇	一八二〇七五	二四六四
高岡	九五三三	八〇〇九五	一〇〇〇
中越	四二五〇	六二九五六	一三一〇
富山	二三七六	一一五〇七	一三五二
富山縣計	二九三〇九	三三六六三三	六二一六
加能合同	二六三七	六七一五二	〇
加州	一三七五	四三五〇二	一〇〇〇

昭和 年 月 日

日本銀行

行名	繰上 資本金	預金	借入金 （引当金）	貸出	有価証券
能和	一五九四	一九九五五	〇	九〇三九	一一七四四
石川縣計	五、六〇六	一三〇、六〇九	一〇〇〇	五九、一九四	七三、六一六
福井	三七九三	一〇八、一〇五	〇	二八、六七五	七九、二一八
大和田	二五、六八	四三、八九二	〇	八一、三九	三三、〇一三
福井縣計	六、三六一	一五、九九七	〇	三六、八〇四	一一、二三一
石川西縣計	一一、九六七	二八、二六六	一〇〇〇	九五、九九八	一八、八四七
總計	四一、三七六	六、六一九	二、三九七	一一、三六	二八、九三七
					三、五九六
					六、二一

昭和 年 月 日

備考 高田銀行、氷見銀行、株式全額、能和

銀行、餘喜銀行、株式全額ヲ買收シ

合併ハ時期ノ問題、又加能合同銀行ハ

七月一日鶴巻、金石、西行合併實行ノコトニ

決定シ居ルヲ以テ、何レモ合算セリ。

但金石、餘喜兩行最近ノ計數不明ニテ十

五年上期末分ヲ採用セリ。

昭和 年 月 日

一、石川、福井、函縣ハ、元來機業ヲ主

要産業トシ經濟事情相似タル處アリ。

富山縣ハ、農、漁業ヲ主トシ其事情

ヲ異ニセルモ、同縣所在、銀行ハ、何レモ

函縣ニ進出シ其貸出額石川縣ニ於

昭和 年 月 日

テハ地許銀行ノ約半額、福井縣ニ

於テハ地許銀行ト相拮抗セル状況

ニアリ。

昭和 年 月 日

北陸地方銀行貸出分布状況

(十五年十二月末 單位千圓)

十二 高岡 中越 富山 能合 同加 州能 和福 井大 和田 計

富山縣 三四四二 二九七〇 一五四九 六一四九

八五七五一

石川縣 七五五六 一六〇四一 五七七四 二九二二 二七七三 二一三五 九五四 一四一三 四七五 〇八九〇 〇〇〇

二九六六三

五八五八二

福井縣 一九二四七 七九五二 七二六六

三〇六五九 五五三 七〇六六

三四三六五

三六二六一

昭和 年 月 日

備考

十二銀行三、水橋銀行、高岡銀行三、氷見銀行、

加能合同銀行三、鶴来、金石、西銀行、能和

銀行三、餘事銀行、大和田銀行三、三友銀

行三、合算ス

金石、餘事、三友、三行、十五年六月末分計數ヲ採用。

從テ其地盤ハ相錯綜シ三縣下ニ於

ケル各銀行店鋪所在地一六〇ヶ所中

六六ヶ所ハ店鋪重複シ殊ニ金澤 22

市ノ如キ各行何レモ店鋪ヲ有シテ

其ノ數四〇ニモ上レル程ニシテ銀行

昭和 年 月 日

間ノ競争烈シク預金貸出共得

意先ノ爭奪相當深刻ニテ之カ爲

々一時ハ商人筋ノ思惑買ヲ助長 23

セルコトスラアリ。

状態如斯ナルヲ以テ三縣下銀行ヲ

昭和 年 月 日

打ッテ一丸トナスハ理想トスル處ニテ

各行ノ内容ニ見シモ加洲・富山ハ

劣レルカ其他ノ諸行ハ何シモ相當

額ノ積立金ヲ持寄ルベキ餘カアリ。

其ノ收益狀況ハ概シテ石川・福井ニ懸

昭和 年 月 日

日本銀行

銀行良久富山縣、銀行者レカ

總テ先少普通ト見ルベシ。

昭和 年 月 日

十五年上期

十五年下期

	经常收益	收益率	经常收益	收益率
十二	八五七 <small>千</small>	一三・〇	八二三 <small>千</small>	一二・五
高岡	六二六	一三・一	六二九	一三・二
中越	二四一	一一・三	一八六	八・七
富山	七九	六・六	一四九	一二・五
加能合同	二五四	一九・三	二四三	一八・四
加州	二五四	三七・〇	一六八	二四・四
能和	一三〇	一六・八	一五〇	一九・二
福井	五一〇	二六・九	五五二	二九・〇
大和田	二五六	一九・九	二二六	一七・六

昭和 年 月 日

日本銀行

行名	貸出中 欠損見込	動不勘定 中、評価損	欠損見込 計	積立金 解納金	十五年末 定額評価額	繰上済金 本金
十二	五五	〇	五五	七二〇七	一八五六	一三一五〇
高岡	六	〇	六	三七八二	七三六	九五三三
中越	〇	〇	〇	二二六九	三八	四二五〇
富山	一七二	一九五	三六七	二七三	五	二三七六
加能合同	四八	〇	四八	五六〇	一七〇	二六三七
加州	六六一	五二	七一三	六二〇	三二三	一三七五
能和				六一三	九三	一五九四
福井	七五一	〇	七五一	二二九三	六三三	三七九三
大和田	〇	〇	〇	二七一五	八八八	二五六八

備考

欠損見込ハ実地調査当時ノ見込額ヨリ其後ノ銷却額
ヲ除算セリナリ。

(単位千円)

昭和 年 月 日

又合同成立、上ハ本店ハ金澤トナル

ヘキカ 當地方資金移動、中心ハ左

記都市別銀行貸出残高ニ於テモ見ルカ

28

如ク金澤・福井ノ両市ニシテ本店ヨリ

遠隔トナルヘキ 敦賀方面ハ貸出四百七十

萬圓程ニ過キザルヲ以テ問題トナラザル

ハシ。

昭和 年 月 日

日本銀行

北陸四市組合銀行職業別貸出残高

(十五年十二月末)
單位千円

業別	計	金澤市	福井市	富山市	高岡市
機械関係	五六九九〇	一七六八九	三五五三一	一五四七	二二二三
米穀肥料	一九〇四	三九五	三九	五九七	八七三
銅器商	一二九四	四二			一二五二
鉄工業	九七一九	五一四一	六六九	三六三六	二七三
醸造業	一四一三	二八七	三六〇	五四三	二二三
石膏製造業	二四六九	一三四	二八	二一九二	二二五
電気瓦斯業	五一四六	九五		四四九一	五六〇
交通運輸業	一七五八	一三四八	二三八	二二一	六一
化学工業	二四六三	三三八	一六二七	四八五	一三

昭和 年 月 日

日本銀行

証券買賣業	三、四一七	一、四〇五	六、五四	一、二一九	一、三九
金融業	一、三〇〇	六、一六	二、一五	三、三一	一、七八
地方自治團體	五、八四二	九、四六	五	四、八九一	
農業	二、七五七	七、四〇	四、三〇	一、〇三五	五、四八
其他	六、〇、四七六	二、三、六三〇	一、三、九一七	一、四、三〇二	八、五八三
合計	一、五七、〇二三	五、二、七三三	五、五、七三一	三、五、五三〇	一、五、〇、四九

昭和 年 月 日

右ノ如ク三縣下ノ銀行合同ハ理論的ニハ

十分考慮シ得ベキ處ニシテ問題ハ今

直チニ九行同時ノ合同ヲナスベキヤ

漸ク追フテ進ムベキヤニ存スベシ。

九行同時ノ合同ニ就テハ左ノ如キ難点

昭和 年 月 日

ヲ考慮スルノ要アリ。

一、店舗多キニ過ギテ之カ統制困難ナル

コト

九行ノ店舗ハ現在

昭和 年 月 日

本店

九

(内三縣下所在 九)

支店

二六七

(" " 二四八)

出張所

一五七

(" " 一四七)

計

四三三

(" " 四〇四)

ノ多キニ上リ 重複セルモノ、内

本支店

一二四

出張所

三二

計

一五六

ノ整理 考へラル、モ 之ヲ 急速ニ 行フトキハ

昭和 年 月 日

種々摩擦ヲ生ズル懼レアリ。整理後ト

雖モ残ル店舗ハ二七七(本店一支店

一五一出張所(二五)ニシテ多キコト全國

ニ其比ヲ見ズ蓋シ之ハ統制ハ容易ナ

ラガルベシ。

昭和 年 月 日

尚經營方針アマリニ隔絶セルモノヲ合

併セルムコトヲ 今後ノ運行ニモ支障

ヲ伴フベシ 例ハ大和田銀行ノ如ク

資金ハ殆ント証券ニ投ジテ貸出ハ預金

ノ二割程度ニ過キガルモノト 中興銀行

昭和 年 月 日

、如く預金ノ七割余ヲ貸出ニ運用

セルモノトシテハ 行首ノ訓練其他ニ相当ノ

相違アルベク渾然之ヲ一体トナストキハ

一時運行上ニ種々ノ支障生スベキハ

想像セラル、處ナリ。

昭和 年 月 日

一、支店長等ニ相當人物ヲ要スベキガ

其補充困難ナルコト

預金六億餘ノ大銀行トナルコト、テ相當

ノ人材ヲ要スヘシ、幹部級ハ中央方面

ヨリ人ヲ得ルトスルモ支店長級ノ人材補充

昭和 年 月 日

ハ困難ナルベシ。

一、地理的關係ヨリ見ルモ 富山縣ハ降

雪ノ爲メ、時々全澤方面ト交通途

絶スルコトアリ、其ノ爲メ既ニ久シク本

行支店設置スル要望ニツキ、アリ、實際

昭和 年 月 日

問題トシテハ如斯コトモ考慮ノ要アルベキ

コト

一 富山縣人ト他ノ兩縣人トハ氣質ニ

40

於テ著ルニウ異ナル矣アルコト

次ニ三縣一行ニ達スル迄ノ道程トシテ

昭和 年 月 日

又

秘

昭和十六年五月二十七日

考査部長

日本銀行

總裁

副總裁

理事

島居

大藏省銀行局長 富山 石川 福井三

孫所 在銀行就中 十二 富山 島居 中越

(以上富山物) 加 決 令 日 加 州 決 報 (石川知)

昭和 年 月 日

福井、大和、福井、諸行の合併上

本店ヲ金澤市ニ置、新銀行設立ノ案

ニ付本行ノ意向照會有之ト

本件ニ付之ルニ各行首腦者ノ意向如何カ

先ツ向敷トテ取手カ大花者ノ内証ニ依リ

且之同別視ヲスルニ十二銀行ノ中ニ

昭和 年 月 日

日本銀行が示唆した理由たる其の要旨

一、石原は存スルキヲ十分考慮ヲ要スルシ

後ニ共ノ意向點ナレトスレハ (2) 本銀行、如キ場合

併カ地方隆濟ノ實状ニ適應スルヤ否ヤノ點

上力之ニ付テハ、障害ニ依リ交通ノ途絶、人情

ノ阻礙等若干ノ点ヲ除キテハ、格別支障

昭和 年 月 日

ナキモト思考ス 殆ど是の意見セラルコト

(3) 新銀行設立ノ結果シテ所期ノ目的ヲ

達スル様運営可決ナリヤ否ヤノ点ニ一の

有之例ハ其ノ店舗ノ如ク四百三十余ヲ

兼ヘ役リニ重複スルモノ全部ヲ整理スルニモ

尚三万店近ク全石銀リニ殆ト其比ヲ見

昭和 年 月 日

不統制ノ容易ナラセラル思ハシム、加フルニ預

金額六億四余ニ上ル大銀行ノ形態ヲ備フルニ

至ルニ一孝ニ集束セラルル大ケ首魁有ハ免ニ

自トシテ其他ノ経営幹部ニ果シテ人ヲ得

可キカ、且ツ各行走々傳統ヲ有シ其ノ経

営方針亦著シク異ナリ而カモ各行共走々

昭和 年 月 日

有力ナル地方銀行ナル等ニ鑑ミル時右合同
案ハ其ノ事實ニ於テ何等反對スベキ理由
ナキノミナラズ又斯ノ如キ方法ニ依ルコトガ各行
夫々ノ合同反對理由ヲ失ハレメ之ヲ容易ナ
ラシムル所以タルコトヲ思考スルモ尚慎重穩
討スルノ要アリ、現状ヨリスレハ寧ろ其處ニ

昭和 年 月 日

異なる道程トシテ比較的事務ヲ異ニスル

富山縣ハ別個ニ取扱ヒ先ツ高岡ト中越ヲ

合同セシメ出来レハ更ニ之ト十二トヲ合同セシム

ルコトニシテ石川福井兩縣ハ地理的經濟的

ニ近似シ且ツ有力ナル銀行ニ欠クルヲ以テ加州

ノ交際ニモ考慮シテ其ノ所在銀行ヲ一行ニ

日本銀行

統合スルユト一ツ想ト被存唯ノ大和田ハ之ニ

参加スルカ若クハ其ノ首脳者ノ希望スルカ

如ク大和田貯蓄ト合同シテ貯蓄銀行トナ

ルコトモ同行ノ業態ヨリシテ差支ナレト致

ス次カニ有之候

要スルニ本件ハ本質上ノ問題ヨリモウ

昭和 年 月 日

日本銀行

際上ノ效果ニ考慮ヲ拂フ要アリトナス
關係上断定ヲ保留スルヲ適當トスルモ

一應右漸進方針ヲ以テ可然回

答方一取計可然哉 調書 相添

伺候也

昭和 年 月 日

控

昭和十六年五月廿九日

日本銀行

日本銀行 考査部長

濱田課長 殿

先般貴社談有之候富山、石川、福井三名所立銀
行合同案ニ對スル本行、意向重役ト協議、結
果大体左ノ如クニ有之由了承奉願候
本件ニ付テハ

1) 各行首腦者、動向如何
色々見地ヨリ賛意ヲ表スルモノ可有之カ

昭和 年 月 日

山

秘

其ノ真意常已ニ存スベキカ充分檢討ノ要アルコト

(2) 假ニ右ノ真問題ナレトスルバ本業ノ如キ合同カ地
方經濟ノ実情ニ適シテスベキモノナリヤ否ヤニ付
考察スルニ交通關係、人情ノ相違等若干ノ真々
除キテハ格別支障ナキモノト思考サレ

(3) 結局最モ急念セラルコトハ新銀行設立ノ曉果
シテ所期ノ目的ヲ達スル梯運管可能ナリヤ否ヤ
ノ真ニアリ例ヘバ

(4) 其ノ店舗數ノ如キ四百三十餘ヲ算フルニ五リ

昭和 年 月 日

其の四重構ふる店舗ヲ整理スルニ者三百ニ近カルベク

之ヲ統制容易ナラサレト

四 預金額六億ニ上ル大銀行ノ形態ヲ平スニ重役

陣ハ鬼ニク申トレシニ其他ノ幹部ノ人ヲ得可キカ

急念心ニシテ

一 各州トモ地方有力銀行ニシテ夫々傳統ヲ有シ且ツ

其ノ経営方針ニ著シク異ナルモノアリ弱小銀

行ノ合同ト趣リ異ニスルコト

(4) 要スルニ本合同案ニ付テハ前記ノ如ク本質ニ於テ

異論ノ事由ナリ如斯方法ニ依ルトモ夫々ノ反對

口實ヲ失ハシメ合同ヲ容易ナラシムルモノナルカ一舉
ニ決セス現状ヨリスレバ寧ロ其處ニ達スル道程

トシテ

(1) 比較的事務ヲ異ニスル富山縣ハ別個ニ扱ヒ先
ヅ高尾ト中越ヲ合同セシメ出來レバ之ニ十二
ヲ合同セシムルコト

(4) 石川、福井兩縣ハ地理的、經濟的、近似ニ且ツ
特ニ有カサル節ハ之ヲフルヲ以テ加州ノ處理
ニ考慮シテ其ノ所在節々ヲ一併ニ統合スルコト
大和田ハ之ニ參加スルカ又ハ大和田貯蓄ト合

昭和 年 月 日

日本銀行

同レノ貯蓄部ノトナストト（同ノ首腦者、於レ希
望スル由）

右程ノ漸進方針ヲ執ル方適當ナル様考ラレ
次第ニ候

昭和 年 月 日

4

外

日本銀行

昭和十六年九月二日

検査部長

人重澤支店長宛 電信業

ウカイヨ 燃焼ニカ
至急 親展

ヘコタ フロヲ イイキ ネロム サヌム シヤメ
本電支店長以外 譯セサルコトニ 願フ

ヤムトワエシ マエネ フサム ワユヌ ヤムト ナルク
貴管内ノ 銀行合併ニ 関スル 貴見ニ 付

レヲソ モサヌ ラモテ ハヨナ カフヨ ナフツ
テハ 昨年十月 中 報告ニ 接シタル 處

昭和 年 月 日

タテテ、
~~トキヤ~~ ^{シキヤ} ^{マヒツ} ^{ワユエ} ^{トヤク} ^{フクカ} ^{トワ}

其ノ後、高田中社ノ関係等事情ノ変

イ、コソエ、カフ、レヲツ、ナレキルヨア、コキエ、ヨチラ、ヌラケ、

化ヲ生ジタルニ付テハ、現下ノ情態ニ就テ

クンヌ、ナク、ル、ル、チン、アサス、カサヌ、ホナマ、エキモ、サネチ、ノウヨ、
76

三舞ニ目リ、目取モ、ム女当ニシテ、^ノ実現性アル

ヲサム、^ワユヌ、^ヤムト、^ナルク、^フレエ、^ヌスカ、^フワヨ、^ノウヘ、

合併ニ関スル、^貴見、^至急、^考ニシ、^ニアリ度

ケヲキ、^サホイ、^タクコ、

命ニ依リ、申治候

昭和 年 月 日

日本銀行

ツリテ、スツヘ、
シチサ、
メヒツ、
トヨカ、ムツ
尚大蔵省ハ高岡ト申越トノ合同ハ

ウツヌ、
トヨカ、
ツモア、
ムシフ、
ケテエ、アエ、
タクコ、
困難ナリトノ考ニ有之右申添候

又ナナ、
ハヤシ、
スツヘ、
ヘカリ、
キエタ、
チロ、
チルン、
追テ本件大蔵省本行共ニ特ニ取急

又ノシ、
タクコ、
ホラテ、
又スツ、
レヤナ、
キ屋リ候ニ付、
此合ニ軸ノ、

昭和 年 月 日

5

日本銀行

昭和十六年九月八日

總裁



考查部長



副總裁



理事



本行金澤支店管内、銀行合同ニ付テハ

昨年十一月附支店長意見承知済、處

其後ニ於ケル高岡、中越兩行關係

其他事情、變化ヲ考慮ニ入レ、又

昭和 年 月 日

日本銀行

高田銀行ノミヲ石川縣所在本店銀行

ト合同セシムル一ノ場合ニ想定シ管内

三縣ニ涉リ最モ妥當ニシテ實現性アル

銀行合同ニ関シ重ネテ意見ヲ徴シタル

處別紙ノ通り回答有之候由供

高野候

昭和 年 月 日

日本銀行

追テ、右「目下」情勢ニテハ大体妥當

ナル見解ト被存候ニ付、左趣可然

大抵省當局、常参考ニ供スルコトニ

取計可申候

昭和 年 月 日

秘

昭和十六年九月六日

金澤支店長

日本銀行金澤支店

審査部長殿

現下ノ情態ニ於テ管内三縣ニ涉リ最モ年高
ニシテ實現性ニ銀行合併ニ由ル年足陳述
方電令ノ次第拜承、管内普通銀行ニ由ル
不取敢別紙ノ通り其回答申上但也

昭和 年 月 日

日本銀行金澤支店

一管内三縣下所在弱小銀行ノ整理合同
 ハ既ニ本春完了ヲ告ゲテ（本年三月二十六
 日附調査報告ヲ北陸三縣下普通銀行
 ノ整理合同ト其ノ效果ニ就テハ併テ参照）
 地方銀行トシテハ何レニ相當有力ナルニ
 ノ又ハシンガケトシテ系銀行ノニト相成
 申候處素ヨリ更ニ一層基礎強大ニシテ
 以テ容堅實ナルモノニ再合同スルノ目標ニ
 向テテ引續キ不斷ノ注意ハ其ニ居候得共
 今後合同ノ要ハ當地方金融界及產業
 界ノ甚ク早急ニ實現セシムルコトヨリモ

昭和 年 月 日

日本銀行金澤支店

寧日主トレテ行員不足ノ緩如策乃至
今後ニ於ケル經營難ノ濃化對策等
ニ在ル次第ナレバ此際強ヒテ之ヲ促進ス
ル程ノコト無之様存候 而シテ今後
合併ヲ進行スルニ當リテハ專ラ代表
者ノ銀行ノ公共性ヲ充分認識シ、眞
ニ地方産業指導者タル資格ヲ有スル
銀行ヲ中ニトシ且出來得ル限リ銀行間ノ
権衡ヲ保持セシメ以テ當地方金融界並產
業界ノ健全ナル發展ヲ計リ度考テ合併ノ
成否、合同後ニ於ケル重役行員ノ融和等ヲ

昭和 年 月 日

日本銀行金澤支店

寫ト見極メタル上ニテ勸奨シ、一度手ヲ出シタル
上ハ途中ニテ方針ヲ變更スルガ如キコト無之様
致度慎重ニ話ヲ進ムベキモノト存候

二、福井縣

福井銀行

大和銀行

大和銀行ハ其ノ内容普銀トシテハ稀有ノ堅實
味ヲ有スルモ何分地方産業ニ對スル關係ニ極
稀薄ニシテ既報ノ如ク社長老齡、專務不健
康ナルハ營業振作極的、之ガ變化ヲ望ム、兼候
上其ノ主要地盤タル敦賀ニ於テハ肥料海産物

昭和 年 月 日

高が閉散休商状態ニテ假令積極的方針ヲ
 採ラントスルモ今後各分置行難ク態然レハ連
 福井銀行トノ合同ニ依然實現性乏敷、從テ
 同系大和田野蓄銀行ニ併合改組セシムルヲニサカ
 ト思ハレ、近來行員不足ヲ許ヘ居ル狀況ニテモアリ
 之カ實現ハ格別ノ摩擦モ無之年ト被認候
 福井銀行ハ地許産業就中機業ノ健全ナル
 發展ヲ目標ニ他縣ノ銀行殊ニ十二ノ管業地
 リニ悩マサレソ、多年孤軍奮闘、市橋頭取ハ
 相當私財ヲモ投シテ之カ育成ニ努メタル趣ニ
 有之、今同日頭取ハ縣産業界ノ大恩人トシテ

昭和 年 月 日

5

日本銀行金澤支店

絶大ナル信頼ト尊敬トヲ受ケ居候實狀ニ有之
斯ル事情ヲ考量スルトキ北陸方面ニ於テ今後
銀行ノ整理合同ヲ進ムルトモ先ヅ本縣ヨリ手
ヲ束ムベキデアリ而カニ一縣一行トスルヲモ當ノ様
様存候

三石川縣

加能合同銀行

加州銀行

能和銀行

富山縣。本店ヲ有スル十二高田、中越、富山ノ
四行ハ金澤、小松、七尾ノ三市ヲ始メ石川縣下

昭和 年 月 日

日本銀行金澤支店

樞要ノ地ニ合計三十ノ支店有リ又福井縣ニ本店
ヲ有シ福井大知田兩行ハ金澤大聖寺ニ合計
四ノ支店有リ夫レ有リ之當縣所在右三本店銀
行ハ富山福井兩縣ニ全然支店ヲ有セズ縣内
ノミヲ地盤トスルコトヲ兩縣ノ銀行ヨリ披擊セラレ
居ル狀態ニ有之殊ニ富山縣銀行ノ壓迫ヲ蒙
リ業況ノ伸展ハ不尠阻害カレ就中従来
十二高田兩行ノ營業原リハ管外自行本位ノ
傾向濃厚ナリ協調性ニ乏シク本店銀行ハ免
角尾城ヒヤ跡始末ヲ引受ケルノ若計ヲ度々
嘗テ候取ナルガ高田銀行ハ現頭取高廣比平

昭和 年 月 日

氏が就任以来本店銀行トノ協調ヲ好ク保持シテ
金融ノ疎通ニ貢獻スルニ至リ候處十二銀行ノ
體口ハ今尚依然自行本位ノ打算的傾向強ク
口ニ協調ヲ唱ヘカガラ蔭ニ廻リテ逸早ク他行ヲ
出シ抜クニト往々有之候様ノ次第ニテ石川 富山
ノ兩縣ハ福井縣ト全ク事情ヲ異ニスル兩縣ニシテ
現在スル本店銀行ヲ夫、合併シテ一縣一行トスル
コトハ北陸金融界ノ平和ヲ維持シ得ザルノ懸念
アルノミナラズ產業ノ健全ナル發達ヲ計ル旨トモ
面白カラズト被存茲ニ慎重ナル考慮ヲ研ブノ
事アリテ早急ノ合併ハ今分ノ處出來兼候様

昭和 年 月 日

日本銀行金澤支店

認候

右ノ如キ實情ヲ考慮シ第一項ニ述ナル方針ニ
從ヒ、ニ富ト認トラル、合併ハ高田、加能合同ヲ
中心トシ中越、加州、能知、五行ヲ一丸トスルニ
在ルカ如クニ被存候 但三和銀行ハ子銀行タル
加州本店跡ニ支店開設ヲ許シテ爰レルナラ加州
ヲ等合併ニ參加セシメ又能知モ右ノ如キ大合同
ニ異存無之様觀取セラレ申候

四富山縣

十二銀行

高田銀行

昭和 年 月 日

日本銀行金澤支店

中越銀行

高山銀行

十二頭取中田清兵衛氏ハ茲一兩年餘程協組
 的ニナリタル様社存借得共同行ノ實際取引ニ
 現ハル處ハ大銀行タルノ様度ニ乏シク尚依然
 自行本位ノ打算的遣口多ク越ニテ高田頭
 取高廣次平氏トハ合ハズ兩者手ヲ握ルノ望
 無之様社存借ノミナラズ福井頭取市橋保治郎
 加能合同頭取米谷半平ノ両氏モ中田頭取ニ
 對スル反感ハ豫想外ニ深刻ニテ十二ニ之レ以上
 他ノ銀行ヲ合同セシムルコトヲ極度ニ嫌惡致居

昭和 年 月 日

市橋頭取モ高田、加能合同ヲ中ニトスル前項ノ
 合同案ハ寧ロ賛成ニテ希望スルモ十二ヲ中ニ
 トスル合同ハ絶對又對ノ意ヲ漏シ申候 又差
 業界ノ於テモ一部ノ支持アル外中田頭取ニ
 對スル反感ハ相當濃厚ナルモ有之候 實情
 ナレバ前記高田、加能合同ヲ中ニトスル上ノ
 合併實現スル場合ニハ富山銀行本店ニ安田
 支店設置ヲ許シ、同行ノ富山、石川兩縣所在
 支店ヲ十二ノ讓渡スル程度ガ毎富ノ標榜存便
 中越ハ今春大藏省検査官ニ一縣一行ニ合同
 ヲ勸奨セラル、場合ニ依然參加可致旨ノ一札

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

日本銀行金澤支店

了差出居候事ハ右ハ實現不可能ヲ前提ト
 セルモノ、如ク眞意ハ依然單獨營業ニ在ル様
 被認候 尚先般富山縣知事ヨリ同行岡本
 常務ニ對シテ大藏省ニ本店ヲ金澤ニ置キ
 高岡、加能合同、中越ヲ中心トスル銀行合同案
 アル趣聞キ込ミタルガ、富山縣下ニ三行位ハ必要
 ナルヘク而カモ何レモ立派ニ銀行ナレバ右ノ如キ案
 ニ反對ナレバ左様ニ得置相成度レ旨申渡シ
 レタル事情ニ有二、一層單獨營業ノ壯ニ見受
 申候
 以ヒ



昭和十六年九月九日

大藏省

相田銀行局長 殿

岸銀行検査課長 殿

濱田普通銀行課長 殿

日本銀行考査部長



拜啓富山、石川、福井三縣下ノ銀行合同ニ關シ當行金澤支店ヨリ別紙ノ
通り情勢報告有之候ニ付御參考迄供高寛候
敬具

昭和十六年九月八日

日本銀行

審査部長

金澤支店長殿

貴管内銀行合同ニ関スル貴見ニ

拜承、右ニ直ニ重役へ回示、上其ノ高

大蔵省銀行司ニ送付参考ニ供スルコトニ

取計申上、同亭承知置被下セリ

敬具

大正 年 月 日

6

必

昭和十六年十月三十一日

日本銀行

考査部長

總裁

副總裁 澤嶋

理事

自記
山

北陸三名所在本店銀行合同ニ関スル件

本月上旬北陸銀行大會・出席シタル際濱田

昭和 年 月 日

大藏省善館課長・福井(六日)、石川(八日)、富

山(九日)、各名廳・夫々名下本店銀行、富岡

者ヲ各個ニ招致シ、名ヨリ經濟部長、本行

ヨリ金澤支店次長立會、各名共夫々名由所

在本店銀行ヲ一行ニ統合スル方針ニ付懇

談、此ノ席上各銀行當事者ノ答ハタル意見

昭和 年 月 日

概要左ノ如シ。

(金澤支店次長ヨリ電話・テ聴取)

一、福井県

小大和田銀行頭取ハ自リノ貯蓄銀行ニ改組シ

同系大和田貯蓄ト合同スルコト・異論ナシ。

四、従ツテ普通銀行トシテハ自然福井銀行一併

昭和 年 月 日

トナリ、本名ニ付テ、問題ナク市橋福井頭取ニ

會論異議ナシ。

ニ石川名

(1) 加州銀行、頭取丸川出席セス為替若松一美

出席、上大臣名、両方針ヲ拝聽、上

頭取ニ付ル旨懇答程迄ニ止ム

昭和 年 月 日

(1) 加能合同頭取米谷、石川縣本店銀行、毎條

仲 = 一ツトナスコトニ強ク反對ス、何故ナラハ石川縣

、福井縣及富山縣、銀行 = 圧迫セラレ也リ、

單 = 現在、石川縣本店銀行ヲ合併シタルニテハ

到底存立ノ見込ナク、故ニ、石川縣、本

店銀行ト富山縣、高島銀行並ニ中越銀行ヲ

日本銀行

加へ合同スルカ、若シクハ(2)強イテ石川島ト本

店銀行ヲ一ツ・合同スルトナラハセニ他各銀行

ノ各支店ヲ譲渡セシムルヲ要スルコトヲ主張シ

タリ。

右(1)ニ對シ 濱田課長ハ北陸三縣ハ夫々各ト銀行

ヲ一ツニ合同セシムルコト・大抵各銀行間ノ方針

昭和 年 月 日

ヲ定メタルヲ以テ右様ノコトハ出来難イ旨説明

シタリ。

（三）能和銀行頭取泊富一ハ自リトシテハ大蔵省

ノ方針トアラハ名下一行ニ異論ナキ旨答へ

タリ

有石川名譽談會席上金澤貯蓄頭取トシテ

昭和 年 月 日

001423

349

永久

B22

昭和十六年—十八年

北陸地方銀行合同件

考查局
昭和34年受理
永久保存
第 349 号
1 册

考查局

1

								香
								領
								號
								年
								月
								日
								仕
								出
								元
								件
								名

北陸地方

北陸
北國
新立合同件

番編 號纂	年 月 日	仕 出 元	件 名
一	一 六 五 二		北陸地方銀行合同、件（調書） 銀行局長より北陸三都下所立銀行 合併問題、呈し本行、意向照會 ・対スル意見
二			右意見 渡田普通銀行課長へ 四卷 一件
三	二 九		金澤支店長宛 合同、調書 意見照會（電報）
四	九 二		北陸地方銀行合同、関し 金澤支店、 報告
五	八		

20
5
94

25
5
77

20
5
24

3

61
5
69

12
5
60

番 編 號 纂	年 月 日	仕 出 元	件 名
六	一六 一〇 二一	考査部 手紙 15	北陸三縣銀行合同の各銀行者協定意見 没田善銀課長ト北陸地方金融者協定者 ト、對談要旨
七	、		
八	、 二七		右追加報告
九	、 三一	考査部 十二銀行	北陸地方銀行合同の十二銀行者申件 北陸三縣の於ける富山縣の経済的地位
一〇	、		
一一	一七 二二 一五	考査部 手紙 15	金澤支店管内銀行合併の件 大藏省方針の件
一二	、		
一三	、 二八	考査部 手紙 15	中越銀行、大藏省、提出の答申書字
一四	、		東京中越銀行合併の件、北越銀行合併の件

161
5
120

156
5
160

128
5
155

124
5
127

119
5
120

110
5
118

95
5
110-1

番 號	年 月 日	仕 出 元	件
一三	二 二 一	金澤支店長	高山縣新銀行設立準備計畫會由合事項
一四	二 一 三	〃	右銀行右編通知, 件
一五	一 二 六	考査局長	高山縣下四行合同, 件
一六	一 二 八	〃	高山縣下銀行合同, 閱スル覽書, 二張有
一七	四 六	金澤支店長 青森	銀行局長本行支店長談, 件
一八	四 一 三	金澤支店長	北陸銀行創立次第, 石川縣下銀行合同 準備委員, 件
一九	五 四	〃	高山縣下銀行合併契約書調印, 件
二〇	五 一 二	〃	右總會無事終了, 件

207 200 204 195 180 178 176 172
 5 5 5 5 5 5 5
 240 206 229 200 194 179 177 175

番 號	年 月 日	仕 出 元	件 名
二一	一八七	金澤支店長	業陸銀行創立總會招集, 件
二二	七	局長	業陸重役決定, 件
二三	七	金澤支店長	業陸銀行重役決定, 件
二四	七	〇	業陸銀行創立總會開催, 件
二五	七	〇	富小縣下四村合併實行, 件
二六	八	〇	業陸銀行引継資産, 残余資産, 件
二七	三	〇	旧十二中, 高岡, 富小, 高山合同時高合併支 付金支拂, 件

261 257 256 250 247 244 24 東京 2873
 5 5 5 5 5 5
 262-260 258 249 246 240

考 查 局 昭 和 〇 四 年 受 理 No. 〇 四 九 ~ 五 / 八

北 國 信 行 〇 〇

九	八	七	六	五	四	三	二	一	番 編 號 纂
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一 八	年
七	〇	五	〇	〇	〇	〇	三	二	月
一 五	二 九	一 五	二 九	二 四	〇	一 七	一 四	三 三	日
局 長	〇	〇	金 澤 支 店 長	考 査 局 長	金 澤 支 店 長 宛	考 査 局 長	〇	金 澤 支 店 長 宛 青 森 官 署	仕 出 元
石 川 縣 三 行 會 同 三 行 新 銀 行 人 事 件	石 川 縣 下 合 同 銀 行 對 當 比 率 件	石 川 縣 下 銀 行 會 同 三 行 檢 査 中 核 本 監 督 官 引 揚 件	石 川 縣 下 銀 行 會 同 公 表 件	石 川 縣 下 銀 行 會 同 件	〇	合 同 問 題 二 付 加 能 會 同 米 谷 頭 取 束 討 件	石 川 縣 新 銀 行 頭 取 件	石 川 縣 下 銀 行 會 同 問 題 二 就 十	件

其 二

〇〇〇 294 290 291 295 278 269 266 264
 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
 〇〇〇 〇〇〇 292 290 284 277 268 265

考 查 局 昭 和 〇 〇 年 受 理 No. 〇 〇 〇 〇 ~ 〇 〇 〇 〇

番 編 號	年 月 日	仕 出 元	件 名
一〇	八 七	局長	石川縣下新銀行重設件
一一	八 八	考查局長	石川縣下銀行合同件
一二	八 八	金澤支局長	石川縣下銀行合併内認可申請書件
一三	八 八	〃	石川縣下銀行株主總會期日変更件
一四	〃 〃	〃	〃 株主名義書換件止公告件
一五	〃 〃	〃	合併三行株主拂込義務加重件
一六	〃 〃	〃	石川縣下銀行合併内認可件
一七	六 〇	〃	石川縣三行合併案付件
一八	九 〇	支店長	能知株主承諾書徵求済件
一九	二 〇	〃	石承諾書全部徵求済件

〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

番 號	年 月 日	仕 出 元	件 名
二八	一二月	〃	业国定款変更, 件
二七	一二月	〃	业国銀行會社決定, 件
二六	一二月	支店長	业国銀行創立總會招集, 件
二五	一二月	大原支店長	业国銀行, 本支店設立委員長, 件
二四	一二月	〃	加能合同, 加州能和株主總會, 件
二三	一二月	〃	發送, 件
二二	一二月	支店長	石川縣銀行合同, 付株主招集通知狀
二一	一二月	局長	加州一分増配, 件
二〇	一二月	支店長	石川縣下三行合併, 件
一九	一二月	〃	石川縣下銀行合併契約変更, 件
一八	一二月	〃	〃

094 085 076 070 068 066 064 062 059 057
 〃 〃 〃 〃 〃 9 〃 〃 〃 〃
 093 084 075 069 067 065 063 061

考 查 局 昭 和 四 十 年 受 理 No. 〇 四 九 ~ 八 / 八

									二九	番 編
									八	號 纂
									三	年
									二	月
									八	日
									支 店 長	仕 出 元
									業 國 銀 行 新 五 實 行 件	件 名

其

一

秘

日本銀行

北陸地方銀行合同件（調書）

一、北陸三縣下所在銀行、主要勘定ヲ

示セハ、左、如クニシテ、總額、預金、六億

千九百萬圓、貸出、二億八千九百萬圓

有價証券、三億五千六百萬圓ニ上リ、預

金ハ、拂込資本金、十五倍、預金ニ對

昭和 年 月 日

スル貸出ノ割合 四六%、証券ノ割

合五七%ナリ。(一般地方銀行平均

預金ハ、繰上資本、十九倍、預金ニ對ス

ル貸出ノ割合四五%証券ノ割合五七%)

而シテ富山、石川兩縣所在ノ銀行ハ

概シテ貸出ニ對スル運用比較的多ク

福井縣所在ノ銀行ハ其運用証券

ニ偏セリ。

日本銀行

北陸地方銀行主要勘定

(十六年四月末現在 單位千圓)

行名	拂込 資本金	預金	借用金 コルポネ	貸出	有價證券
十二	一三一五〇	一八三〇七五	二四六四	九二四〇八	一〇一六三九
高岡	九五三三	八〇〇九五	一〇〇〇	四八三七一	三九九九二
中越	四二五〇	六二九五六	一三一〇	四五六五三	二一五九九
富山	二三七六	一一五〇七	一三五二	六八四一	七六一四
富山縣新	二九三〇九	三三六六三三	六一二六	一九三二七三	一七〇七七四
加能合同	二六三七	六七一五二	〇	二九四〇九	三七〇八二
加州	一三七五	四三五〇二	一〇〇〇	二〇七四六	二四七九〇

昭和 年 月 日

日本銀行

行名	繰上 資本金	預金	借用金 引当金	貸出	有価証券
能和	一五九四	一九九五五	〇	九〇三九	一一七四四
石川縣計	五、六、六	一三〇、六〇九	一〇〇〇	五九一九四	七三六、六
福井	三七九三	一〇八、一〇五	〇	二八六七五	七九、二一八
大和田	二五、六八	四三、八九二	〇	八一、二九	三三〇、一三
福井縣計	六、三六一	一五、九九七	〇	三六、八〇四	一一、二、三三一
石川西縣計	一、九六七	二八、二、六〇六	一〇〇〇	九五、九九八	一八、五、八四七
總計	四、一、三七六	六、一、九、二三九	七、一、三六	二、八、九、三七一	三、五、六、六、二一

昭和 年 月 日

備考 高田銀行、氷見銀行、株式全額、能和

銀行、餘喜銀行、株式全額ヲ買收シ

合併ハ時期ノ問題、又加能合同銀行ハ

七月一日鶴巻、金石、両行合併實行ノコトニ

決定シ居ルヲ以テ、何レモ合算セリ。

但金石、餘喜兩行最近ノ計數不明ニテ十

五年上期末分ヲ採用セリ。

一、石川、福井、西縣ハ、元來機業ヲ主

要産業トシ經濟事情相似タル處アリ。

富山縣ハ、農、漁業ヲ主トシ、其事情

ヲ異ニセルモ、同縣所在、銀行ハ、何レモ

西縣ニ進出シ、其貸出額、石川縣ニ於

于ハ地許銀行ノ約半額・福井縣ニ

於テハ地許銀行ト相拮抗セル状況

ニアリ。

昭和 年 月 日